

2009年度 FUJITSUファミリー会 秋季大会

★大会の詳細は、ファミリー会ホームページ「eふぁみり35号」をご覧ください。
<http://jp.fujitsu.com/family/>

10月29日(木)、宮崎市のフェニックス・シーガイア・リゾートにおいて、2009年度秋季大会が開催されました。全国から約800名の会員・関係者が参加し、講演やセッション、懇親会など盛大に行われました。



会場／フェニックス・シーガイア・リゾート



ファミリー会副会長
小島 貞美 氏



宮崎県商工観光労働部 部長
渡邊 亮一 氏



富士通(株) 代表取締役副社長
広西 光一 氏

2009年度の秋季大会は、櫛橋常任理事の司会のもと、小島副会長からの、「高まるITの重要性和、ファミリー会のさらなる積極的な活動を」の挨拶で開幕。宮崎県 商工観光労働部 部長の渡邊様より来賓のご挨拶を頂戴した後、富士通を代表して広西光一副社長が、「お客様」「グローバル」「地球環境」の3つの起点に基づいた改革をすべく、これからも社員一同、頑張っていきたいと述べました。

特別講演は、歌人で若山牧水記念文学館 館長の伊藤一彦氏に、記念講演は、旭化成陸上部顧問で九州保健福祉大学 客員教授の宗茂氏にお話いただきました。

3会場同時進行で行われたセッションの後、懇親会では、会員同士が親睦を深めるなど、盛況な会となり、次回京都開催での再会を呼び掛けあって閉幕しました。

●特別講演



人生を豊かにする力

—牧水の歌と人生—

伊藤 一彦 氏

歌人／若山牧水記念文学館 館長

宮崎を代表する歌人・若山牧水。名前こそ有名だが、その実像はあまり知られていない。酒と旅、自然と故郷、そして、家族を愛し、ひたすら自分の文学の理想(=あくがれ)を貫いた人生は、本当に幸せなものだったと、牧水研究の第一人者であり、自らも歌人である伊藤氏は説く。自分の魂のふるさとを求めて生涯続けた旅、愛情あふれる家族とのエピソード、そして、安らかな死を迎えるまで、ときには弱さをさらけ出し、ありのままの自分を生きた牧水。その魅力と豊かな人生観を、美しい「調べ」に満ちた代表作を挙げながら、語っていただいた。

(講演録を本号に掲載しています)

●記念講演



私のころざし

—競技人生とアスリート育成論—

宗 茂 氏

旭化成陸上部顧問／
九州保健福祉大学 客員教授

小学校4年生で、陸上の世界に入ることを決意してから引退まで、自分の意志でマラソンを続けることができたのは、とても幸せな競技人生だったと語る宗氏。自分で行動したことで失敗しても、それは貴重な経験になり、指導者として非常に役に立つと指摘する。チーム(組織)の力がメンバーに与えるプラスの力、強い選手の条件は、「プラス思考」「素直さ」など、豊富な体験談を交えてお話いただいた。現在は、新たに気功の世界を研究。これまでとはまったく違った分野で、自分自身がいかに成長できるか、さらなる上を目指して挑戦されている。

(講演録を次号(333号)に掲載予定です)

※セッションの詳細は「eふぁみり 35号」に掲載しています。

セッション

セッション1

経営に貢献するIT投資評価方法

～LS研 2008年度研究分科会最優秀賞～

IT投資がどれだけ経営に貢献しているか、その評価方法について研究成果を発表していただいた。案件を個別に評価する「案件別評価シート」。PCやネットワーク等のIT基盤について評価する「IT基盤評価シート」。これら個別の観点での評価を集約し、経営への貢献を全体から鳥瞰する「エグゼクティブサマ

リー」が紹介された。評価の実践を通じて、経営方針とIT投資の傾向が一致しているか、投資の水準と効率性の同業他社との比較、投資の成功・失敗の評価から課題を浮かび上がらせるなど、ビジネスの変革・改革へつながる評価方法として参加者から高い評価を得た。



(株)TKC
内部統制統括センター 次長
三浦 康浩 氏

セッション2

インターネットを通じて、牛の発情発見を各農家へお知らせするシステムの開発

～ITを活用したセンサービジネスへの取り組み～

牛の受胎率向上は畜産・酪農家にとって重要課題。正確な牛の発情を知るため、牛の歩数で発情がわかるという説をもとに歩数計型発情発見システム「牛歩(ぎゅうほ)」を開発。正確な発情時期の判定により受胎率が上昇、牛の疾病やストレスの発見、回復状態の判別にも活用され、成果を上げている。さらな

る受胎率上昇に向け、発情発見から受精まで手順を研究中、富士通と共同で発情時期を携帯電話にメールでお知らせするサービスを開始、農家へ技術者を派遣するシステムも計画中。畜産や酪農などコンピュータとは無縁に見える分野でのIT活用事例に参加者は高い関心を寄せていた。



(株)コムテック
代表取締役会長
笹栗 紘二 氏

セッション3

クラウド・コンピューティングに必要とされる情報セキュリティとは

現在、最も注目されている「クラウドコンピューティング」。クラウドとは何か、その定義・特徴、発展の背景、テクノロジーなどを政府・業界の動向を交えて解説。さらに、サービス提供者・利用者の両側から見たクラウドへの期待と不安、課題として大きくとりあげられる

セキュリティ、情報セキュリティガバナンスの重要性、2010年にオープンする富士通のクラウドセンターについて紹介された。国内外企業の相次ぐ参入や、経済産業省、総務省による研究会発足などもあり、参加者は熱心に聴き入っていた。



富士通(株)
セキュリティソリューション本部
情報セキュリティセンター長
塩崎 哲夫 氏

懇親会

懇親会では、富士通(株)代表取締役会長兼社長 間塚氏、来賓の宮崎県知事 東国原氏の挨拶の後、岩橋ファミリー会会長の挨拶・乾杯があり、途中、アトラクションを交え、懇親の輪が広がりました。



富士通(株) 代表取締役会長兼社長
間塚 道義 氏



宮崎県知事
東国原 英夫 氏



ファミリー会 会長
岩橋 誠 氏



鎮西九州支部長と九州支部の方々による中締め



全国から集まった参加者が懇談、情報交換



地元の方々によるアトラクション
「ひょっとこおどり」



2010年開催地 関西支部
下條支部長へ大会旗をリレー